

# 未来のへ地団

建設未来フォーラム

代表 佐藤 士朗

不思議でたまらない  
ことがあり、セミ  
ナーの休憩時間中  
あるベテランの工  
部長に聞いた  
たことがあ  
ります。



よく見る工事看板。すべてが  
この文面ではなからうか…

「なぜ工  
事看板には  
よく頭を下  
げてご迷惑  
をおかけし  
ますと表示  
されている  
のですか？  
地域のため  
の工事なの  
でもっと堂  
々とすれば  
よいのでは  
ないですか  
？」  
その工事  
部長から  
返ってきた言葉はこ  
うでした。

## 自然災害と建設業 ⑫

「佐藤さん、それ  
は違うんだ。俺たち  
は仕事をやる上で、  
それがたとえ地域の  
ためであっても現実  
的に施工の中で騒音  
をまき散らし、ほこ  
りを立て、場所によ  
っては通行の妨げ

ことになるんだ。だ  
から申し訳ない、終  
われば環境もよくな  
るからそれまでがま  
んしてくださとい  
う意味で迷惑をお  
かけしますと言っ  
ているんだ」。

この言葉を聞いた  
貢献とか創意工夫と  
かいうきれいなこと  
言葉ではなく、まさ  
に地域を向いて地域  
のために、たとえそ  
れを途中経過で迷惑  
がられても信念を  
もって仕事に取り組  
む姿を見せつけられ

の中にはプロフェッ  
ショナルとしての信  
念が隠されていたの  
でした。  
もしかしたら現場  
に看板を立てないの  
は私たちが地域住民  
のためにはいいこと  
なのかもしれないと  
思いました。

共にどこを向いて仕  
事をしなければなら  
ないのかを今一度考  
え、分りやすく伝え  
るとともに私たち  
地域住民ももっと公  
共工事を理解し、  
「お疲れさまです  
い」と挨拶を自然に  
交わせるようになる  
ことが本来の三方良  
しのあるべき姿では  
ないかと考えていま  
す。

## 「ぐめんなさい」にプロの信念

### 向くべき方向性は？

を起こしている。地  
域のための仕事をし  
ているからこそ逆に  
地域に迷惑をかける

時に私自身ものすご  
いショックを受けま  
した。  
三方良しとか地域

たのです。  
「ぐめんなさい、か  
ら始まる公共工事で  
すが、ぐめんなさい

便利で安全な生活  
環境がほしい、でも  
工事は嫌だという矛  
盾した想いの住民  
を相手に、受発注者

三方良し実現の鍵  
は私たち地域住民が  
握っているのかもし  
れません。

# 未来のへ地団

建設未来フォーラム

代表 佐藤 士朗

仕事とは自己満足  
で終わらせるもので  
はなく、お客様に喜  
んでもらえることが  
何よりの評  
価になって  
くると思い  
ます。



次世代へ受け継ぐことは、責  
任であるのではなからうか…

公共工事  
が終わり、  
地域からの  
感謝状やあ  
りがとつ  
言葉をした  
仕事をして  
良かったと  
心から感じ  
たという話  
もよく聞  
きます。  
今回の九  
州北部豪雨  
災害でもあ  
る住民からの感謝の  
手紙が届いていま

## 自然災害と建設業 ⑬

た。  
実名や地域が出て  
いるためここには載  
せられないのですが、  
被災した住民が必死  
になって復旧工事に  
取り組む関係者の姿  
を見て勇気付けられ、  
自分達も打ちひしが  
っています。

これからもよろしく  
お願いしますという  
内容でした。  
本来であればこの  
ようなニュースを一  
般紙に取り上げ、広  
く社会に伝えるべき  
ではないかと痛感し  
ています。

スなのでしようが、  
自衛隊やボランティア  
が活動できるため  
の道を切り開いてい  
る建設業者、公共の  
立場の人々をもっと  
クローズアップして  
いけないのではし  
ょうか。

てくれるのは誰なの  
か、何のための公共  
事業なのか、なぜそ  
れが必要なのかを地  
域住民自身が理解し  
ていく必要があるの  
ではないでしょうか。  
そのために計画・  
施工する側は、もっ  
と分かりやすく公共  
工事の目的を教宣し  
ていく必要があります。  
地域のために黙々と  
仕事をすることで  
はあまりにも寂し  
ぎます。

信念をこれからの若  
い技術者に受け継  
がせ、公共工事に携  
わる素晴らしさを広  
めていかなければな  
りません。  
発注者も工事成績  
評定や総合評価とい  
う仕組みの中ですべ  
てを建設業者に押し  
付けるのではなく、  
地域のための役割を  
持った立場として建  
設業者と共に公共工  
事を理解してもらえ  
る努力をしていく必  
要があるのではない  
でしょうか。

## 被災住民からの感謝の手紙 生活を守っているのは…

れるだけでなく前を  
見て生きていかなけ  
ればならない。  
心から感謝します、

被災者の大変さ、  
自衛隊やボランティア  
の活躍ももちろん  
大きなニュースー

南海トラフ地震等  
これから先も大災害  
が予想されている今、  
私たちの生活を守

た技術、ノウハウ、

これまで培ってき